

学習や生活に関する改善プラン

※本改善プランは、岡山市教育委員会の統一した様式です。

本校は、全国学力・学習状況調査結果をもとに授業等の改善を行うため、「学習や生活に関する改善プラン」を作成しました。本校の状況を知っていただいた上で、子どもたちの学習や生活習慣の改善に向けて支援していただければありがたいと思います。

なお、さらに詳細な結果について、調査対象の学年に配付することとしています。

【全国学力・学習状況調査結果の概要】

成果

国語では、文の中で漢字を正しく使う設問で県・全国平均を共に上回る正答率でした。朝の学習時間を活用し、繰り返し漢字練習を行ってきたことによって力がついてきていると思われます。算数では、速さを求める式の意味を理解したり、条件に合う時間を求めたりする問題では全国平均を上回る正答率でした。引き続き前学年に学習したことの復習や基礎的な計算力の定着を図ることができるようにしていきたいと考えています。

質問紙の調査から「学校生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いのよさを生かして解決方法を決めている」に対する肯定的な回答の割合が全国平均を上回っていました。自分で思っていることや感じていることを言葉で表し、互いの意見のよさを認め合いながら話し合うことができていることが分かりました。今後も学級会や各教科の授業等を通して、よりよい学校生活を送れるよう児童自身が主体的に話し合う機会を大切にしていきたいと考えています。

課題と対応

国語では、目的や意図に応じて理由を明確にしながら自分の考えを書く問題、算数では、問題文や資料から必要な情報を読み取り、データを活用する問題に課題が見られました。特に記述式の問題では、正答率が低く、無回答が多くなっています。普段の授業の中で既習事項を振り返って自分の考えをもちやすくすることや、考えを整理したりまとめたりする手立てとして書く機会を増やすことが必要だと考えています。

質問調査の結果から、「自分にはよいところがある」という設問に対して肯定的でない回答をした児童が約40パーセントいました。互いの良いところを見つけ、カードに書いて伝え合う「キラリカード」などの取組で周囲の人から認められる機会をもち、自分の長所を知ることができるようにしていきたいと考えています。

【保護者・学区の方へのお願い】

質問紙調査「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」という質問では、肯定的でない回答をした児童が約43パーセントいました。4年生・5年生で行った学力アセスの結果の値と比べると「当てはまる」と回答した児童は増えてきていますが、県・全国の割合を下回っています。各家庭に配布している「学びの手引き」をもとに、学校の宿題や授業の予習・復習など家庭学習の習慣づけについて引き続き支援をお願いします。